

平成24年度 第7回 九州工業大学 経営協議会 議事次第

日 時 平成25年 3月14日(木) 13:00~15:00

場 所 鳳龍会館 会議室

開 会

- 議長挨拶
- 欠席者等の案内
- 平成24年度第6回議事要旨の確認

〔審議事項〕

- (1) 平成25年度年度計画について
- (2) 平成25年度運営費交付金及び学内予算(案)について

〔報告事項〕

- (1) 就業規則等の制定及び改正について
- (2) 平成24年度教育職員評価の公表について
- (3) 各種センターの設置等について
- (4) 平成24年度就職状況について
- (5) 平成25年度入試状況について

〔その他〕

議長謝辞

閉 会

国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（平成24年度第7回）

1. 日 時 平成25年3月14日（木）13:00～14:50
2. 場 所 戸畑キャンパス 鳳龍会館会議室
3. 出席者 工藤委員，古賀委員，中川委員，成清委員，袴田委員，濱田委員，山本委員（五十音順）
学長，理事（評価・総務担当），理事（教育・情報担当），
理事（研究・産学連携担当），副学長（経営戦略担当），
工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長
4. 列席者 監事（教育・研究担当），監事（経営・財務担当）

5. 議長挨拶

議長から，開会にあたり挨拶があり，本学の現状としてミッションの再定義及び大学院の改組等について報告があった。

6. 会議成立

構成員18名のところ，15名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

7. 議事録の確認

平成24年度第6回経営協議会（平成25年1月17日）の議事要旨について確認が行われ，了承された。

8. 審議事項

（1）平成25年度年度計画について

理事（評価・総務担当）より，資料に基づき平成25年度年度評価について説明があり，審議の結果，3月末までに文部科学省へ提出することが了承された。

（2）平成25年度運営費交付金及び学内予算（案）について

学長より，資料に基づき平成25年度運営費交付金の予算内示及び補正予算について報告の後，平成25年度の学内予算案について，国の方針として1%減額されているため，支出全般にわたり原則1%減を図る一方で，ミッションの再定義及び国際交流等の重点分野に係る施策については，予算を確保しながら推進する予算配分を行う旨の説明があり，審議の結果，原案のとおり了承された。

9. 報告事項

（1）就業規則等の制定及び改正について

学長より，海外拠点（MSSC）に勤務する職員の取り扱い，及び必ずしも教員である必要がない業務を担当するための専門職教員の新設について，報告があった。

(2) 平成24年度教育職員評価の公表について

理事（評価・総務担当）より、資料に基づき本年度に実施した教育職員評価の結果を取り纏め、評価方法と併せて本学ホームページに公表したことについて報告があった。

また、総合評価が「特に優れている」教育職員については、3月中に表彰を行う旨の説明があった。

なお、学外委員からの質問に対して次のとおり回答があった。

- ・ 評価については、過去の実績をもとに事前に各領域ごとに具体例を示し評価の基準を公表している。
- ・ 評価は絶対評価であるが、SS、S評価については割合を設けて相対評価の要素も取り入れている。

(3) 各種センターの設置等について

学長より、資料に基づき「ネットワークデザイン研究センター」の存置、及び「ディペンダブル集積システム研究センター」を4月1日付けで設置することについて報告があった。

(4) 平成24年度就職状況について

副学長（学生担当）より、資料に基づき平成25年3月卒業（修了）予定者の平成25年2月末時点での就職内定状況について報告があった。

なお、次のとおり意見等があった。

（○：学外委員，△：学内委員）

○： 経団連が学生の就職活動を遅らせたことへの影響についてお伺いしたい。

△： 倫理憲章を改正したことで学生の就職活動にも影響は大きいですが、本学は学校推薦がベースとなっているため、就職への対応ができています。

○： 現在の就職内定率について、問題ないのか。

△： 本学は全国的にも高い就職率を保っており、昨年度のあるデータでは全国第2位の就職率となっている。

(5) 平成25年度入試状況について

副学長（入試担当）より、資料に基づき平成25年度の入試状況について報告があった。

なお、次のとおり意見等があった。

（○：学外委員，△：学内委員）

○： 弊社では障害者の雇用を進めている。大学として障害者に対する入試状況についてお伺いしたい。

△： 特別な理由がない限り障害者の方の入学を制限していない。過去にも障害者の入学を許可しており、エレベータを設置するなど施設を改修して対応している。

- ： 推薦入試で入学してくる学生の成績はどうか。
- △： センター試験を課して入学してくる前期日程及び後期日程の学生に比べると推薦入試の学生は相対的にレベルが低くなっている。対応策として推薦入試の学生だけを入学前に集め、事前教育を3回程度行っている。
推薦入試の在り方を議論する必要があると思っており、30分程度の面接では面接慣れしている学生が多いため、見極めるのが難しい。
- △： 推薦入試は、多様性のある入試の1つであり、特徴のある学生をどのように育てるかが大事になっている。
- ： 理系は基本的に男性が多いが、貴学での女性の割合について状況をお伺いしたい。
- △： 女子学生は1割程度であるが、入学後の成績の伸びは女子学生が高いため、できるだけ女子学生を集めたいと思っている。女子学生向けの広報活動等の努力はしているが、全ての学科において物理を課しており、高校で物理を受ける女子学生が少ないのが問題となっている。
- ： 入試の問題も大切であるが、卒業した後の就職等のデータについてお伺いしたい。
- △： 学生の就職時のデータはあるが、3～5年後に就職した後の状況についてデータが少ない。今年3月より卒業した学生に対し、大学との繋がりを持つように生涯メールアドレスの付与を行い、生涯メールを利用した卒業生へのアンケートを実施したいと考えている。
- ： 大学が卒業生に対し、情報等を発信することで大学との繋がりが深まってくると感じている。
- △： 本学の同窓会組織である明専会は、日本の大学同窓会の中でも3本の指に入る組織と言われており、卒業生に対し非常に強い連携を持っている。そのため、高い就職率を維持できている。

10. その他

学長より、本年度末をもって中川委員が経営協議会の学外委員を辞任する旨の報告があり、中川委員より挨拶があった。

また、次回開催日程について説明があり、平成25年6月18日（火）に戸畑キャンパスで開催し、このたび建設した百周年中村記念館において行う旨の報告があった。